

## 目標達成計画

作成日：平成 25 年 2 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	建物はバリアフリー化されているが、利用者さんの活動量は十分に確保できているとはいえない状態がGHでの住環境がいつまでも安全であるために下肢筋力の維持が課題と考えられる。	利用者さんの日々の活動量を増やし下肢筋力の維持を図る	役割などを通して活動量を増やしていくことで利用者さんの下肢筋力低下防止に努めていく。現状では職員が手を出しすぎている場面も利用者さんの持っておられる能力を活用していただくことで活動量の増加につなげていく	12ヶ月
2	2	地域とのつながりは出来てきてはいるものの定期的なつながりはなかなか出来ていないのが現状。地域での事業所としての役割が確立されていない。	事業所の力を生かした取り組み、認知症サポーター講座の定期的な開催を地域で行っていく	町内とのつながりはあるものの、まだまだお客さん状態である。地域的にも高齢者が増えているという現状も踏まえて認知症の理解を地域に発信していく役割を担っていくためにも定期的な認知症サポーター講座の開催を進めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。